

統一伝票印刷VER2利用ガイド

この資料は下記製品の説明資料です

番号	製品名
1	チェーンストア統一伝票手書き用 I 型印刷プログラム
2	チェーンストア統一伝票ターンアラウンド用 I 型印刷プログラム
3	チェーンストア統一伝票ターンアラウンド用 II 型印刷プログラム
4	百貨店統一伝票手書き用印刷プログラム
5	百貨店統一伝票連続用紙用印刷プログラム
6	チェーンストア統一伝票タイプ用印刷プログラム
7	日本加工食品卸協会統一伝票印刷プログラム(卸店メーカー間用)
8	百貨店統一伝票委託C用印刷プログラム
9	チェーンストア統一伝票手書き用印刷プログラム
10	チェーンストア統一伝票タイプ用1型印刷プログラム

2011/2/1 ver. 2.0.0.1

株式会社システムズテクノロジー

©Copyright Systems Technology Inc. 2009, 2010, 2011

目次

- 1.本書の目的
- 2.利用方法概要
- 3.基本利用方法紹介
 - 3.1基本設定での単利用
 - 3.2保存データの利用
 - 3.3選択一覧カスタマイズ
- 4.拡張利用方法紹介
 - 4.1シンプルなEXCEL連携
 - 4.2シンプルな基幹システム連携
 - 4.3高度な基幹システム連携
 - 4.4JCA発注データ連携

1.本書の目的

「対象読者」

統一伝票印刷プログラムをPCに導入し、運用を考える方

「前提」

このガイドは統一伝票印刷プログラムを既にPCに導入済みであることを前提としています。

統一伝票印刷プログラムはデモ版でもかまいません。

「目的」

統一伝票印刷プログラムは提供する機能をそのままの簡単な使い方から、他のシステムに連携し、会社システムの一部として使用する高度の使用方法までさまざまな使い方ができます。

本書はそのようなさまざまな使い方の中からいくつかのモデルを設定し、それに沿ってシステムの設定方法、操作方法を説明することを目的としています。

単に統一伝票印刷プログラムだけでなくシステム構築無償ツールとして別途提供しているメニュー、項目間計算、項目再配置機能との有効な組み合わせについても記述しています。

2.利用方法概要

大きく2つの利用方法を取り上げました。

1つ目は統一伝票印刷プログラムの機能だけで伝票印刷を行うシンプルなものです。

基本的なデータ入力が入力画面から行うことになります。

PCとプリンターだけの小さなシステム構成で実現可能です。

この利用方法を「基本利用方法」と名付けることにします。

2つ目は統一伝票印刷プログラムを基幹システムなどの他のシステムに連係して伝票印刷を行うものです。

伝票に印刷するデータは他のシステムから出力したものを使用します。

他のシステムにも関連するためシステム構成はハードウェア、ソフトウェアを含めて大きくなります。

この利用方法を「拡張利用方法」と名付けることにします。

3.基本利用方法紹介

3つのモデルを定義しました。

モデル番号	ねらい	概要	記述の章
1	簡単な伝票印刷 自動選択一覧生成 PCの知識を必要としない	「基本設定での簡単利用」 インストールしたまま特別な設定なしで使用する場合の操作を説明します。自動生成した選択一覧を利用します。	3.1
2	保存データの繰り返し利用 データ入力の負担軽減	「保存データの利用」 一度入力したデータに名前を付けて保存しておき、次回以降そのデータを読み込んで使用する場合の操作を説明します。	3.2
3	利用者の使い易い一覧表用意	「選択一覧カスタマイズ」 選択一覧表をカスタマイズして使用する場合の操作を説明します。	3.3

「操作説明の前提」

すでに「設定」画面でプリンターと用紙の設定、「印刷位置調整」画面で印刷位置の調整が済んだ状態で操作を開始することを利用方法紹介の説明の前提とします。

3.1基本設定での簡単利用

「操作説明の印刷データの前提」

- (1) 伝票1枚分
- (2) 明細行が1～6

「日常操作」

- (1) プログラムを起動します。
- (2) データ入力画面が表示され画面の背景にはそれぞれのプログラムが印刷する伝票のイメージが表示されています。
チェーンストア統一伝票ターンアラウンド用 I 型印刷プログラムのデータ入力画面の場合

- (3) この画面の「外部データ読込」、「次伝票へ移動」、「外部へデータ保存」、「全伝票印刷」ボタンはひとまず使用しません。
「連続紙印刷／単票印刷」の切替も使用しません。
- (4) 伝票イメージの上部、また下部の水色の入力欄へキーボードから文字の入力を行ってください。
 - ・「カレンダー」ボタンを押下して年月日をセットすることができます。
 - ・合計欄は明細行入力時に自動計算されてセットされるので入力不要です。
 - ・印刷不要な入力欄は空白のままにしてください。
 - ・社名、店名は必須入力欄なのでかならず入力してください。空白のままにしておきたい場合は”空白”を入力してください。

- (5) 伝票イメージの中部の明細入力欄へキーボードから文字の入力を行ってください。
- ・「数量」、「単価」が入力されると「金額」を自動計算してセットされます。
 - ・「数量」、「金額」が入力されるとそれぞれの「合計」を自動計算してセットされます。
- (6) 「表示中の伝票印刷」ボタンを押してください。伝票が印刷されます。
- ・印刷すると印刷済みデータは自動的に”蓄積”と名前がついたファイルに保存されます。

何回か印刷すると”蓄積”ファイルに印刷済みデータがたまり、「一覧選択機能」を利用できるようになります。
「一覧選択機能」を使用すると入力がより簡単になります。

上記(4)(5)の操作を以下の(7)～(10)で置き換えてください。

- (7) 左上の「選択」ボタンを押して伝票イメージの上部、また下部の水色の入力欄へ選択入力を行ってください。
- ・「選択」ボタンを押したときに表示される一覧表は”蓄積”ファイルの内容から自動的に用意されたものです。
一覧表には「社名」、「店名」が同じ場合、基本的に1行表示されます。しかし、その他の条件で複数行になる場合もあります。
 - ・一覧にない場合は手入力してください。
- (8) 一覧からセットされた画面上のデータの年月日やその他の入力欄の変更すべきところを変更してください。
- (9) 次に明細行の入力を行います。明細行の左側にある「選択」ボタンを押してください。
- ・「選択」ボタンを押したときに表示される一覧表は”蓄積”ファイルの内容から自動的に用意されたものです。
一覧表には「品名・規格」が同じ場合、基本的に1行表示されます。
 - ・商品数の行数分入力してください。
 - ・一覧にない場合は手入力してください。
- (10) 一覧からセットされた画面上の明細の数量やその他の入力欄の変更すべきところを変更してください。
- (11) 「表示中の伝票印刷」ボタンを押してください。伝票が印刷されます。
- ・印刷すると印刷済みデータは自動的に”蓄積”と名前がついたファイルに保存されます。

「設定操作」

設定の変更、またシステム構築無償ツールの導入は不要です。

3.2保存データの利用

「操作説明の印刷データの前提」

- (1) 伝票複数枚分(伝票1枚分でも同じ説明で利用できます)
- (2) 明細行が1~6

「日常操作」

- (1) プログラムを起動します。
- (2) データ入力画面が表示され画面の背景にはそれぞれのプログラムが印刷する伝票のイメージが表示されています。
チェーンストア統一伝票ターンアラウンド用 I 型印刷プログラムのデータ入力画面の場合

- (3) この画面の「選択」「表示中の伝票印刷」ボタンはひとまず使用しません。
「連続紙印刷／単票印刷」の切替も使用しません。
- (4) 伝票イメージの上部、また下部の水色の入力欄へキーボードから文字の入力を行ってください。
 - ・「カレンダー」ボタンを押下して年月日をセットすることができます。
 - ・合計欄は明細行入力時に自動計算されてセットされるので入力不要です。
 - ・印刷不要な入力欄は空白のままに置いてください。

- ・社名、店名は必須入力欄なのでかならず入力してください。空白のままにしておきたい場合は”空白”を入力してください。
- (5) 伝票イメージの中部の明細入力欄へキーボードから文字の入力を行ってください。
- ・「数量」、「単価」が入力されると「金額」を自動計算してセットされます。
 - ・「数量」、「金額」が入力されるとそれぞれの「合計」を自動計算してセットされます。
- (6) 複数の入力伝票がある場合、「次伝票への移動」ボタンを押して次の伝票入力画面を表示し、(4) (5) の操作を繰り返してください。
- (7) すべての入力が終わったら「外部へデータ保存」ボタンを押してください。
- ・画面に入力したデータを外部ファイルに保存します。
 - ・外部ファイル名はシステムが自動生成します。社名+店名+yyyymmddhhmmss(年月日時分秒).csvです。
 - ・外部ファイル名は変更して書き出すことが可能です。自分で判り易いように社名+店名+商品名、社名+店名+納品部署名、社名+店名+先方担当者名など命名は自由です。
 - ・ただしファイル名には次の制限があります。”HEADER.CSV”、”MEISAI.CSV”、”蓄積”の文字を含むファイル名は使えません。
- (8) 「全伝票印刷」ボタンを押してください。伝票が印刷されます。
- ・印刷すると印刷済みデータは自動的に”蓄積”と名前がついたファイルに保存されます。
- 2回目以降の伝票作成時には保存しておいた「外部データ」を利用できるようになります。
- 「外部データ」を使用すると入力がより簡単になります。
- 上記(4) (5) の操作を以下の(9)～(11) で置き換えてください。
- (9) 左上の「外部データ読込」ボタンを押して外部データ一覧を表示してください。(7) の操作で保存した「外部データ」を選択してください。
- ・”HEADER.CSV”、”MEISAI.CSV”、”蓄積”の文字を含むファイル名はシステムが使用するので選択できません。
- (10) 画面上にデータがセットされます。
- (11) セットされた画面上のデータの年月日やその他の入力欄の変更すべきところを変更してください。
- ・追加明細行がある場合、明細行の左側にある「選択」ボタンを押してください。
 - ・「数量」、「単価」が入力されると「金額」を自動計算してセットされます。
 - ・「数量」、「金額」が入力されるとそれぞれの「合計」を自動計算してセットされます。
- (12) すべての入力が終わって、必要であれば「外部へデータ保存」ボタンを押してください。次回このデータを使用できます。
- (13) 「全伝票印刷」ボタンを押してください。伝票が印刷されます。
- ・印刷すると印刷済みデータは自動的に”蓄積”と名前がついたファイルに保存されます。

「応用操作」

3. 1で説明した操作と混在操作が可能です。お客様の使用しやすい操作運用を考えてみてください。

「設定操作」

- 設定の変更、またシステム構築無償ツールの導入は不要です。

3.3 選択一覧カスタマイズ

「前提」

- (1) ある程度「基本設定での簡単利用」または「保存データの利用」で伝票印刷した後でカスタマイズしてください。
 - ・よく取引のある得意先の半数以上の印刷後にこのカスタマイズを行って下さい。
 - ・よく扱う商品の半数以上の印刷後にこのカスタマイズを行って下さい。
 - ・自動的に保存している印刷済みデータが少ないと効率の良い一覧表が作成できません。
- (2) 自動生成一覧は表頭の各項目をクリックすると昇順、降順で並び替えが行われます。また設定画面の生成対象データの月数の初期値の25ヶ月を変更することもできます。
このことにより使い易い一覧表になるので自動生成の利点を再検討した後でカスタマイズの必要性を判断してください。



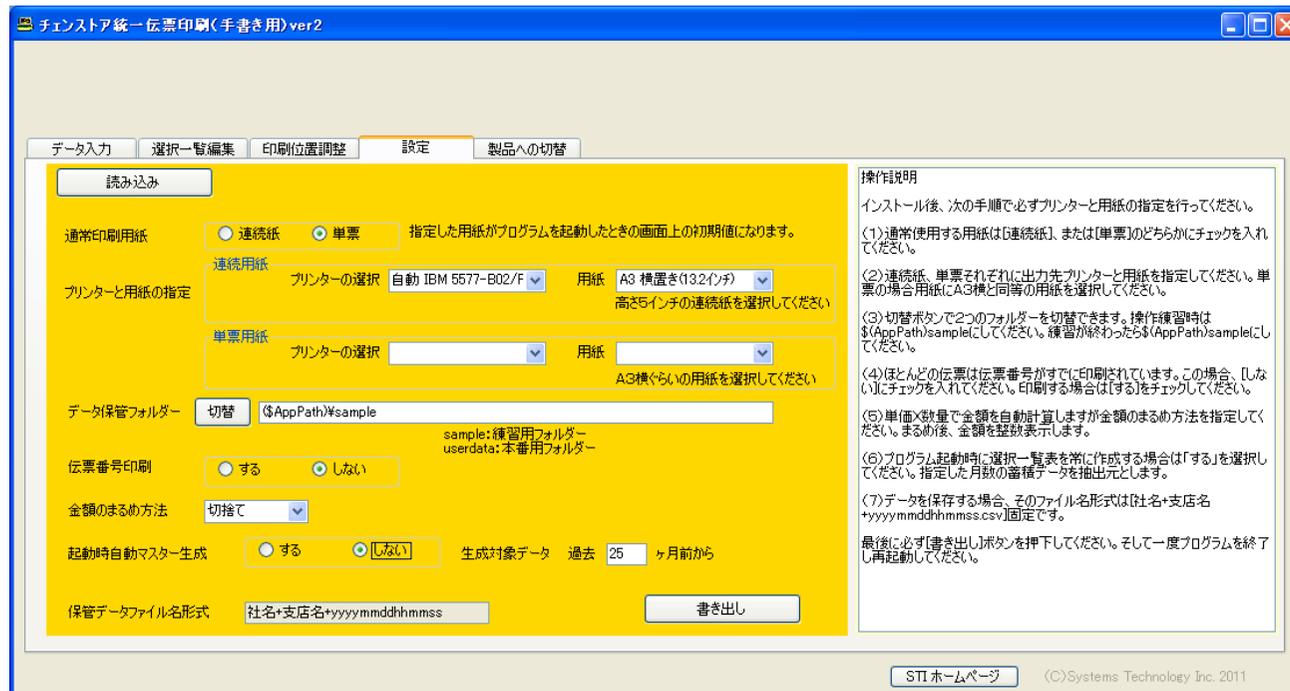
社名	店名	社...	分...	伝...	取引先コード	取引先名1	取引先名2	便
東京フーズ株式会社	人形町店	123...	1213	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	A12
東京菓子株式会社	八重洲口店	123...	1213	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	A12
ザスイーツ株式会社	新宿店	123...	1213	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	A12
コバヨシ有限会社	広尾店	123...	2345	12	645563	東京ワイン...	八重洲支店	
株式会社 富士	天現寺店	123...	3423	12	645563	東京ワイン...	八重洲支店	
株式会社 カラー包装	赤坂店	123...	6576	12	645563	東京ワイン...	八重洲支店	
大橋和菓子商店	新大橋店	123...	4545	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	
港商事株式会社	溜池店	123...	3221	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	
築地昆布商店	築地店	123...	3222	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	
株式会社東京駄菓...	お台場店	123...	3223	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	
東西食器株式会社	芝店	123...	3224	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	
池端食材株式会社	上野店	123...	3225	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	

「設定操作」

選択一覧は導入直後、自動生成するように設定されています。
操作する人が使い易いようにカスタマイズするためには自動生成を停止しなければなりません。

(1) そのためプログラムを起動したら設定画面に移動します。

設定画面の例



- (2) 起動時自動マスター生成の選択を”しない”に変更してください。
- (3) この設定画面の変更はこれだけなので「書き出し」ボタンを押してください。
- (4) 選択一覧編集画面に移動してください。

「選択一覧編集画面操作」(ヘッダーのカスタマイズ)

(1) 以下のような初期画面が開きました。

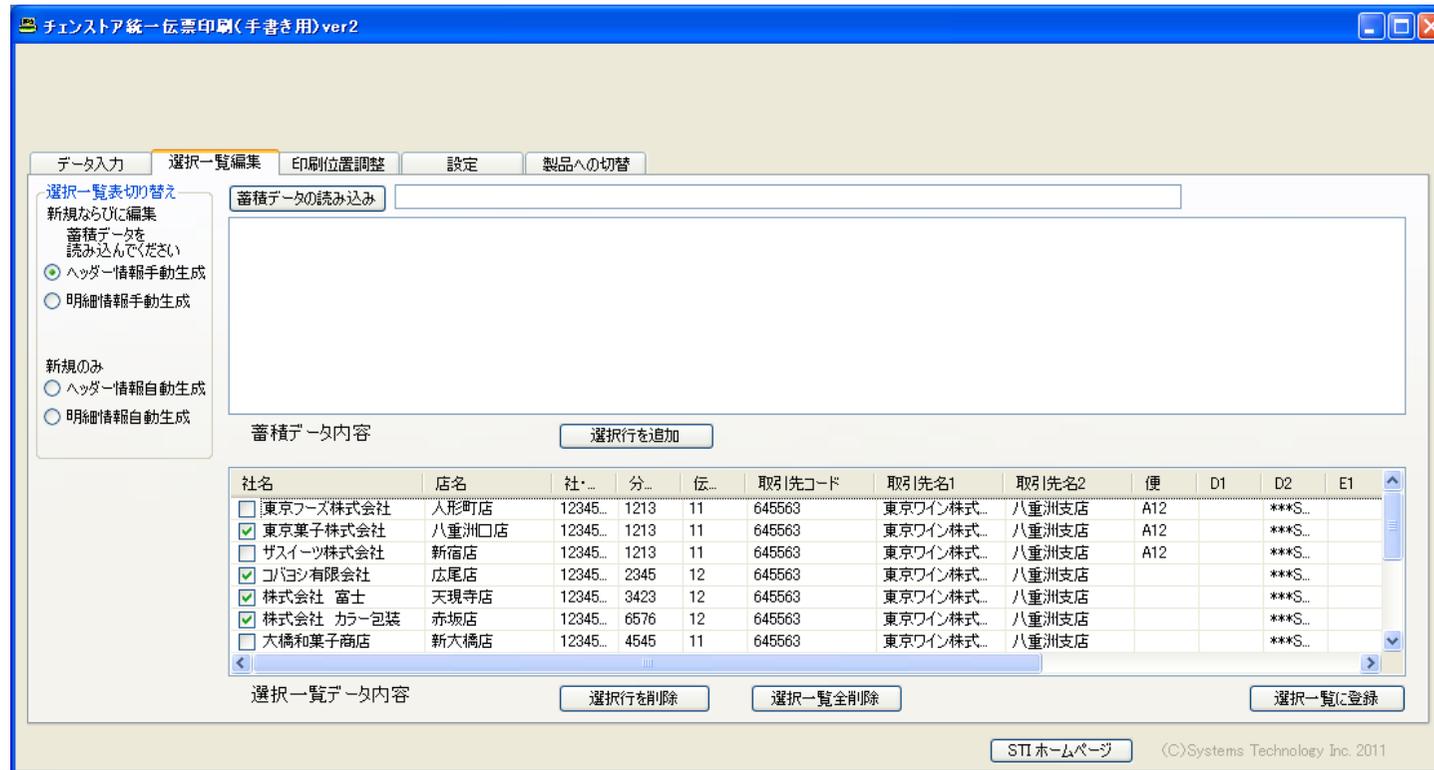
- ・画面左側の「選択一覧表示切り替え」は「ヘッダー情報手動生成」が選択されています。
- ・画面上部の「蓄積データ内容」は空白です。
- ・画面下部の「選択一覧データ内容」に表示されているのは現在存在しているのヘッダー一覧です。
今まで自動生成の設定になっていた場合は最後の自動生成で作られた一覧が表示されています。

蓄積データ内容

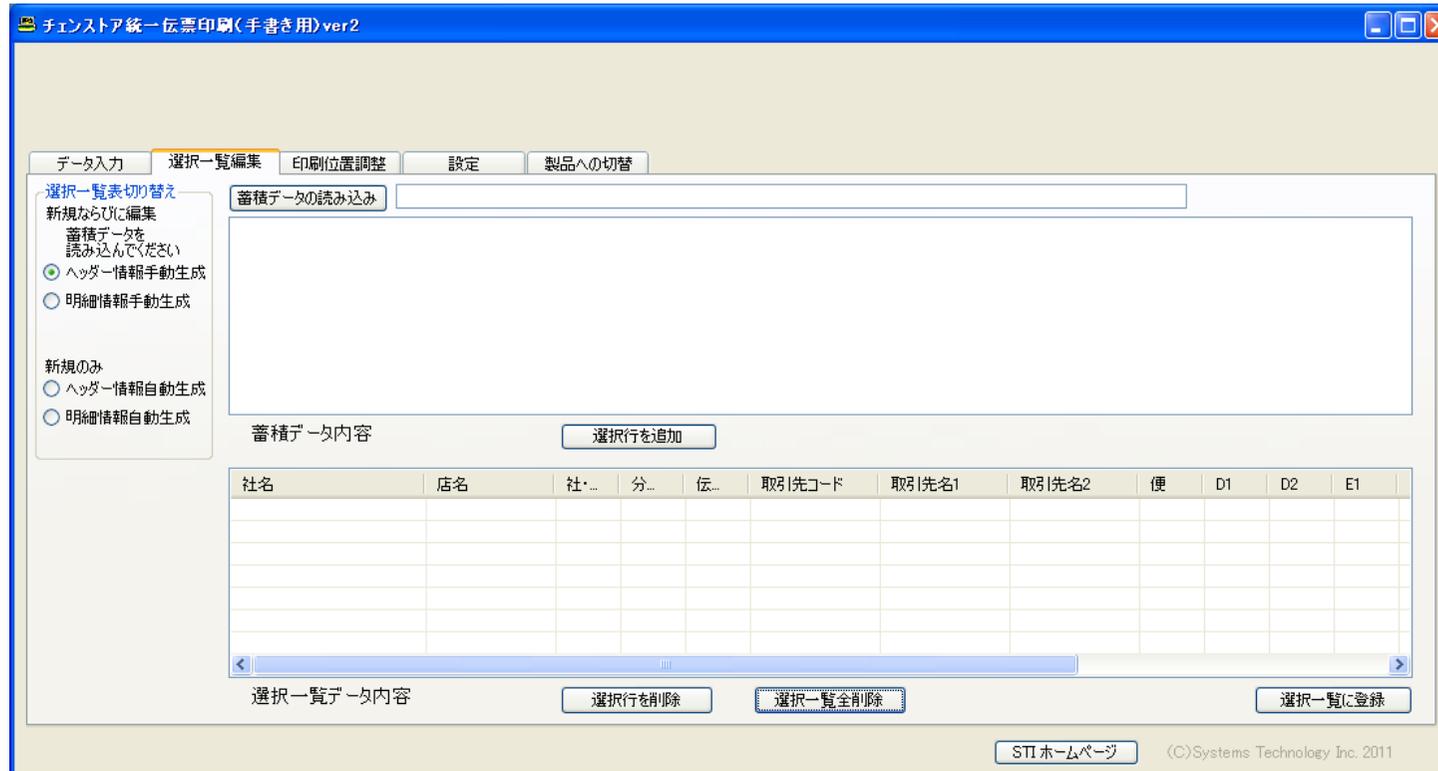
社名	店名	社...	分...	伝...	取引先コード	取引先名1	取引先名2	便	D1	D2	E1
<input type="checkbox"/> 東京フーズ株式会社	人形町店	12345...	1213	11	645563	東京ワイン株式...	八重洲支店	A12		***S...	
<input type="checkbox"/> 東京菓子株式会社	八重洲口店	12345...	1213	11	645563	東京ワイン株式...	八重洲支店	A12		***S...	
<input type="checkbox"/> ガスイツ株式会社	新宿店	12345...	1213	11	645563	東京ワイン株式...	八重洲支店	A12		***S...	
<input type="checkbox"/> コバヨシ有限公司	広尾店	12345...	2345	12	645563	東京ワイン株式...	八重洲支店			***S...	
<input type="checkbox"/> 株式会社 富士	天現寺店	12345...	3423	12	645563	東京ワイン株式...	八重洲支店			***S...	
<input type="checkbox"/> 株式会社 カラー包装	赤坂店	12345...	6576	12	645563	東京ワイン株式...	八重洲支店			***S...	
<input type="checkbox"/> 大橋和菓子商店	新大橋店	12345...	4545	11	645563	東京ワイン株式...	八重洲支店			***S...	

選択一覧データ内容

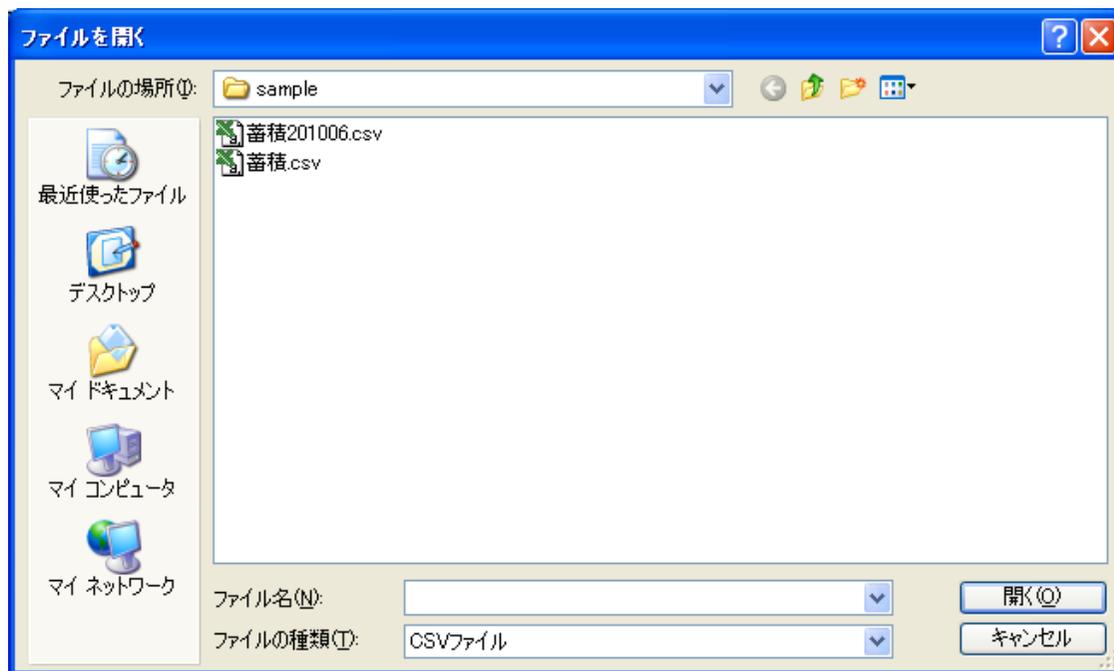
- (2) 不要な取引先があり一覧には表示したくない場合、左端のチェックボックスをクリックして「選択行を削除」ボタンを押してください。
- ・左端のチェックボックスを複数クリックして一度に削除することも可能です。
 - ・すべて削除したい場合は下端の「選択一覧全削除」ボタンをクリックして削除してください。



(3) 下記画面はすべてを削除した画面です。これからここに一覧に表示する得意先を追加していきます。

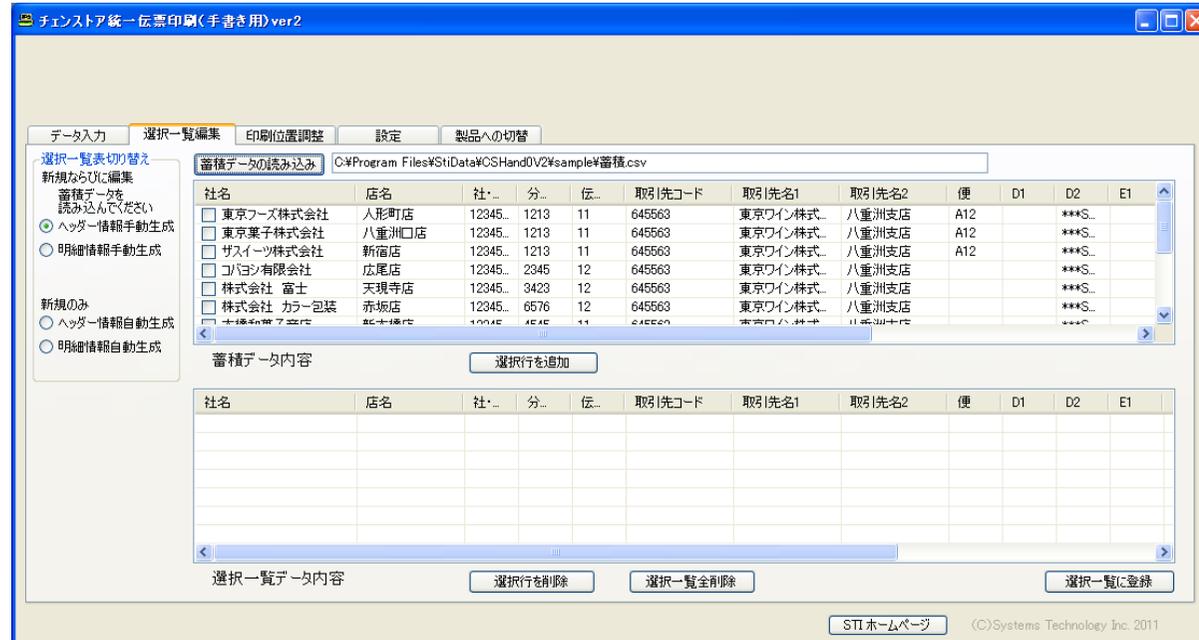


- (4)「蓄積データの読み込み」ボタンを押して蓄積データを表示してください。
- この画面は過去に印刷を行ったときに自動的に保存された伝票データファイルを表示しています。
 - 「蓄積201006.csv」のように”蓄積”という文字と年月を意味する6桁の数字からなるファイルはその年月に伝票印刷したデータです。
 - 「蓄積.csv」というファイルは月初から直前までの伝票印刷データです。



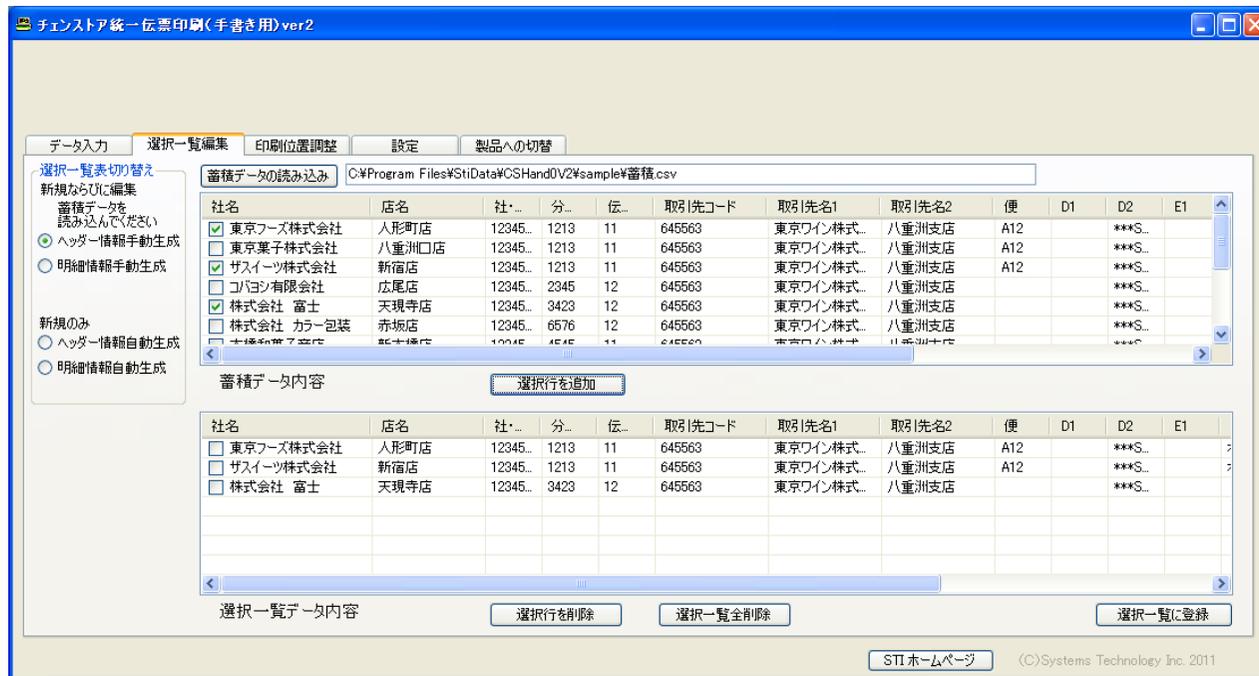
- (5)ファイルを選択して「開く」ボタンを押してください。

(6) 選択したファイルに存在するデータが画面上部の「蓄積データ内容」に表示されます。



(7) 左端にチェックを入れて「選択行を追加」ボタンを押してください。

(8)「蓄積データ内容」に探している取引先がない場合、(4)の操作で別ファイルの中を探してください。



(9)カスタマイズした一覧ができたなら「選択一覧に登録」ボタンを押してください。
内部的に”HEADER.CSV”という一覧用のファイル名で保存されます。

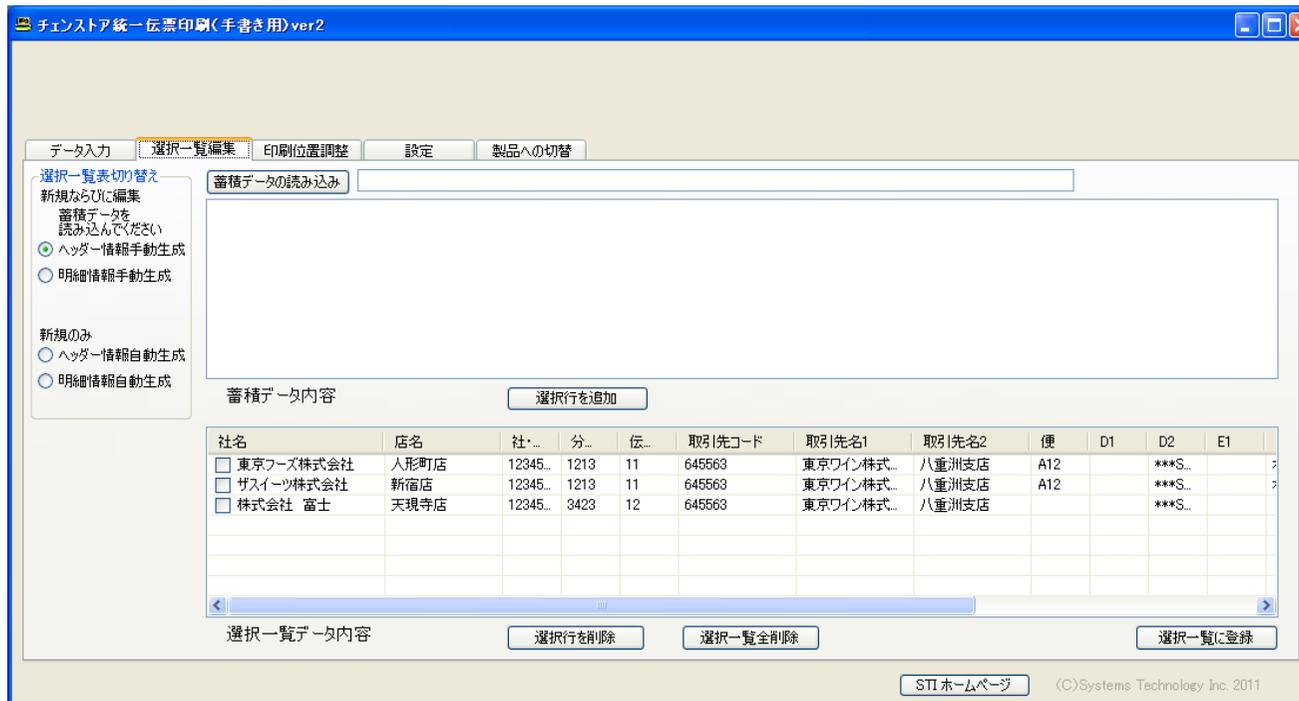
- (10) 一覧確認のため「データ入力」画面に移動してください。
左上の「」ボタンを押してください。作成した一覧表が表示されます。



社名	店名	社...	分...	伝...	取引先コード	取引先名1	取引先名2	便
東京フーズ株式会社	人形町店	123...	1213	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	A12
ザスイーツ株式会社	新宿店	123...	1213	11	645563	東京ワイン...	八重洲支店	A12
株式会社 富士	天現寺店	123...	3423	12	645563	東京ワイン...	八重洲支店	

抽出件数

(11)再度一覧表を作り直すときは(1)から操作をやり直してください。
 選択一覧データ内容は現在の一覧内容が表示されます。



「選択一覧編集画面操作」(明細のカスタマイズ)

(1) 選択一覧編集画面に移動し、画面左側の「選択一覧表示切り替え」は「明細情報手動生成」を選択してください。

- ・以下のような画面が開きました。
- ・画面上部の「蓄積データ内容」は空白です。
- ・画面下部の「選択一覧データ内容」に表示されているのは現在存在しているの明細一覧です。
今まで自動生成の設定になっていた場合は最後の自動生成で作られた一覧が表示されています。

蓄積データ内容

品名・規格	商品コード	入数	ケース	単位	数量	訂...	引合	区分	原単価	原価金額	売単価	売価金額
<input type="checkbox"/> ホタテ冷凍	100235	3		箱	30			1	5000	150000	7000	210000
<input type="checkbox"/> モンゴイカ醤油味	100236	24		箱	10			1	300	3000	400	4000
<input type="checkbox"/> 辛子明太子	100237	6		箱	50			1	6000	300000	7000	350000
<input type="checkbox"/> うじ冷凍	100238	24		箱	40			1	3000	120000	4000	160000
<input type="checkbox"/> 焼きウニ	100239	6		袋	2			1	300	600	400	800
<input type="checkbox"/> いくら	100240	25		袋	30			1	400	12000	500	15000
<input type="checkbox"/> 乾燥ひらめ縁側	100241	24		袋	25			1	5000	125000	5500	137500
<input type="checkbox"/> するめ	100242	6		袋	15			1	1200	18000	1500	22500

選択一覧データ内容

- (2) 不要な商品があり一覧には表示したくない場合、左端のチェックボックスをクリックして「選択行を削除」ボタンを押してください。
- ・左端のチェックボックスを複数クリックして一度に削除することも可能です。
 - ・すべて削除したい場合は下端の「選択一覧全削除」ボタンをクリックして削除してください。

チェンストア統一伝票印刷(手書き用) ver2

データ入力 | **選択一覧編集** | 印刷位置調整 | 設定 | 製品への切替

選択一覧表切り替え
新規ならびに編集
蓄積データを
読み込んでください
 ヘッダー情報手動生成
 明細情報手動生成

新規のみ
 ヘッダー情報自動生成
 明細情報自動生成

蓄積データの読み込み

蓄積データ内容

選択行を追加

品名・規格	商品コード	入数	ケース	単位	数量	訂...	引合	区分	原単価	原価金額	売単価	売価金額
<input type="checkbox"/> 抹茶デ冷凍	100235	3		箱	30			1	5000	150000	7000	210000
<input type="checkbox"/> モンゴイカ醤油味	100236	24		箱	10			1	300	3000	400	4000
<input checked="" type="checkbox"/> 辛子明太子	100237	6		箱	50			1	6000	300000	7000	350000
<input type="checkbox"/> 乳冷凍	100238	24		箱	40			1	3000	120000	4000	160000
<input checked="" type="checkbox"/> 焼きウニ	100239	6		袋	2			1	300	600	400	800
<input checked="" type="checkbox"/> いくら	100240	25		袋	30			1	400	12000	500	15000
<input type="checkbox"/> 乾燥ひらめ縁側	100241	24		袋	25			1	5000	125000	5500	137500
<input type="checkbox"/> するめ	100242	6		袋	15			1	1200	18000	1500	22500

選択一覧データ内容

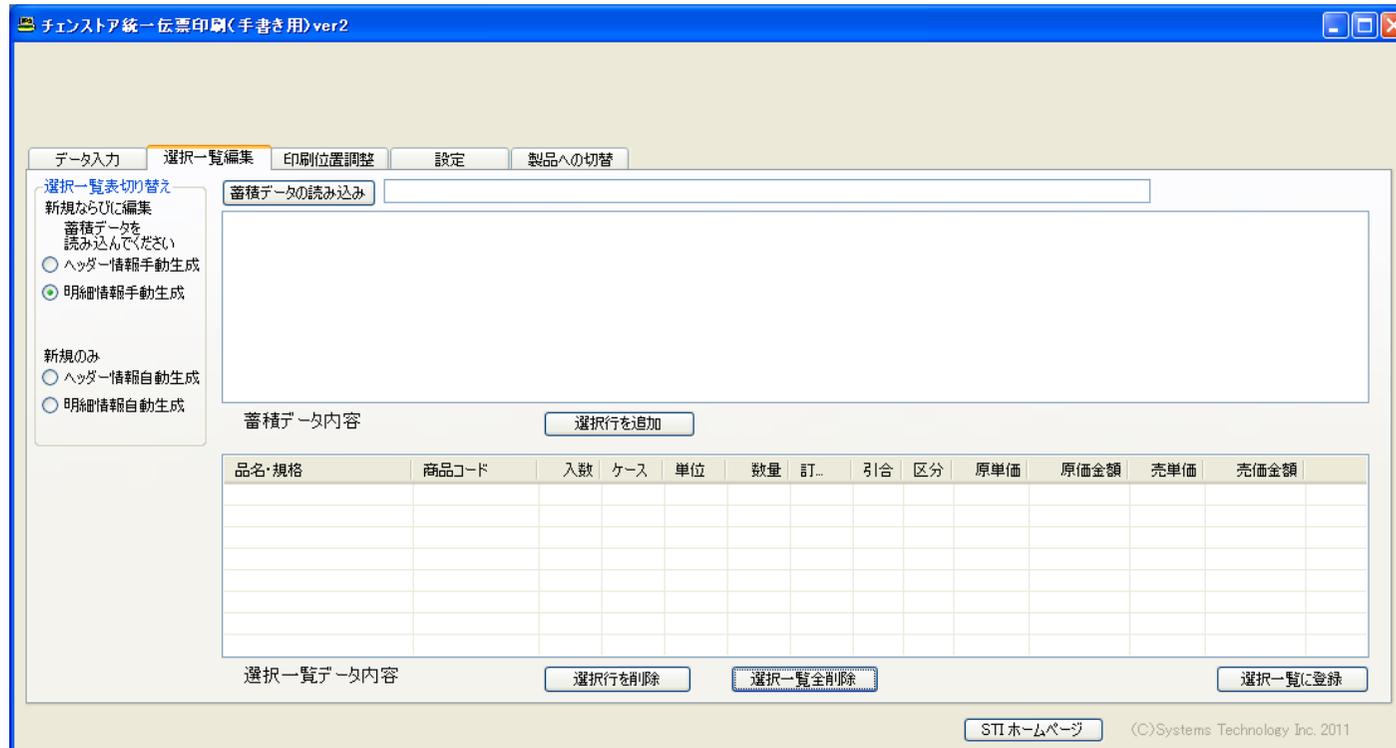
選択行を削除

選択一覧全削除

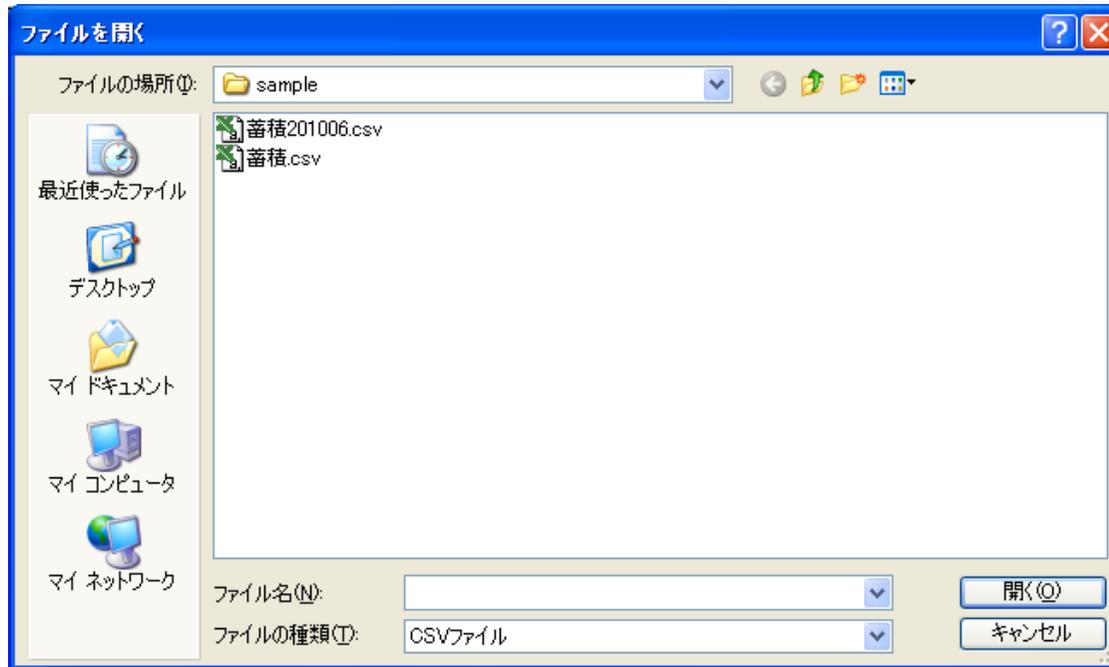
選択一覧に登録

STI ホームページ (C)Systems Technology Inc. 2011

(3) 下記画面はすべてを削除した画面です。これからここに一覧に表示する商品を追加していきます。

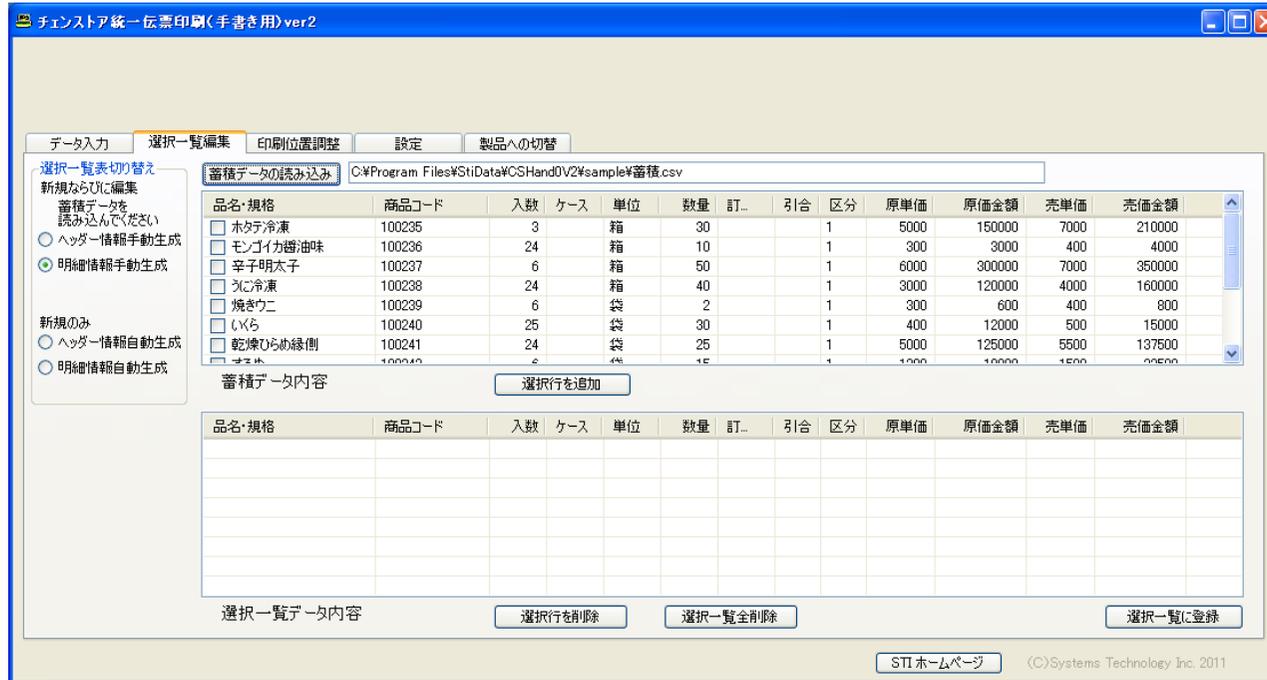


- (4)「蓄積データの読み込み」ボタンを押して蓄積データを表示してください。
- この画面は過去に印刷を行ったときに自動的に保存された伝票データファイルを表示しています。
 - 「蓄積201006.csv」のように”蓄積”という文字と年月を意味する6桁の数字からなるファイルはその年月に伝票印刷したデータです。
 - 「蓄積.csv」というファイルは月初から直前までの伝票印刷データです。



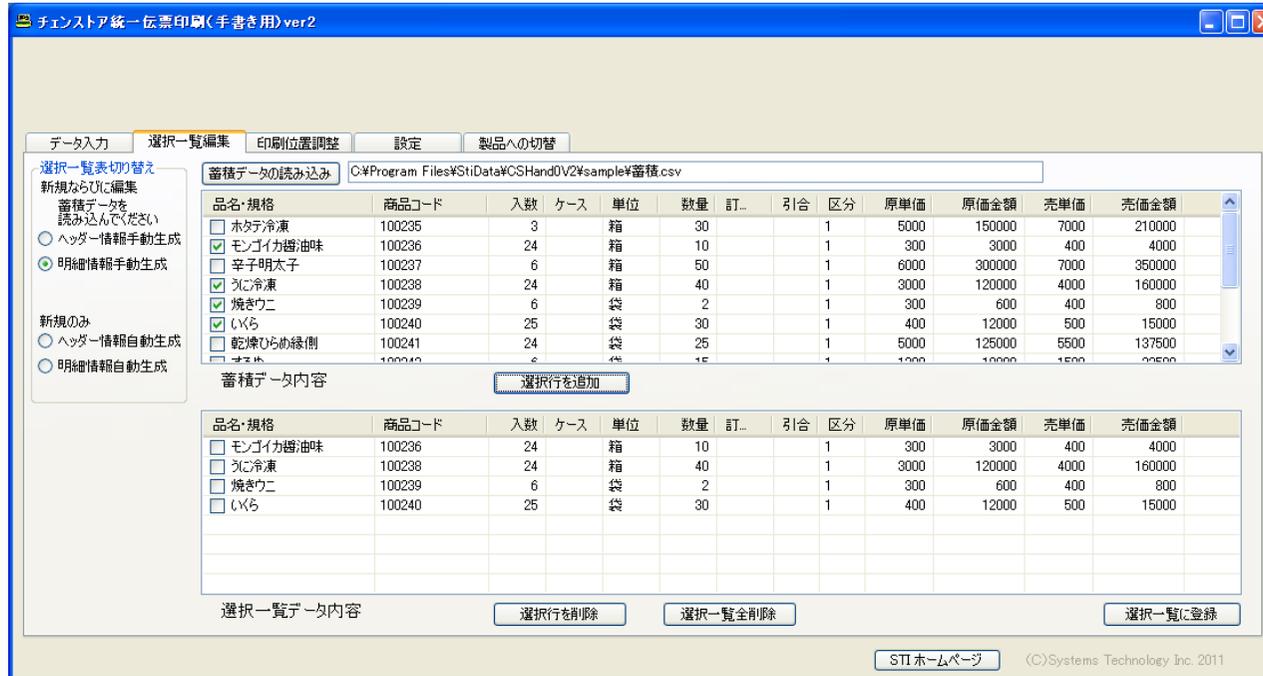
- (5)ファイルを選択して「開く」ボタンを押してください。

(6) 選択したファイルに存在するデータが画面上部の「蓄積データ内容」に表示されます。



(7) 左端にチェックを入れて「選択行を追加」ボタンを押してください。

(8)「蓄積データ内容」に探している取引先がない場合、(4)の操作で別ファイルの中を探してください。



(9) カスタマイズした一覧ができたなら「選択一覧に登録」ボタンを押してください。
内部的に”MEISAI.CSV”という一覧用のファイル名で保存されます。

(11)再度一覧表を作り直すときは(1)から操作をやり直してください。
 選択一覧データ内容は現在の一覧内容が表示されます。

